

主要産地における平成29年産水稲の生育状況等について 第3報 (6月7日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成29年6月8日)

道府県	生育状況等		
	区分	育苗・田植進捗状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)	
北海道		<p>育苗・田植進捗状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)</p> <p>平年に対する遅速等</p>	<p>同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)</p>
	(全道)	<p>移植作業は平年並に終了した。移植後の生育は、苗の活着も良く平年並に推移している。(早2日)。(北海道農政課 6月1日現在)</p> <p>(空知) 生育も平年並であり、移植作業はやや早く終了した。(空知総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調である(早3日)。(石狩総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(後志) 活着の良否は平年並、乾物重も平年並(早3日)。(後志総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(根室) 生育は平年並。移植作業は平年並(根室総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(日高) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並。(日高総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並に終了(早2日)。生育は平年並に推移。(渡島総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(釧路) 生育及び移植作業は概ね平年並(早2日)。(釧路振興局 6月1日現在)</p> <p>(上川) 移植作業は平年並からやや早く終了し、生育も平年並となっている。(上川総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(留萌) 生育は平年よりやや早く進んでいる(早4日)。(留萌振興局 6月1日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育はやや進んでいる(早3日)。(オホーツク総合振興局 6月1日現在)</p>	<p>・6月のヒメトビ ウンカの発生量は平年並、イネドロオムシとフタオビコヤガの発生時期はやや早く、発生量は少の予報(北海道病害虫防除所 5月31日公表)</p>
青森	(田植・生育)	<p>・6月5日現在の田植進捗はよく状況は、県全体で100%となった。県全体の田植終わりは平年並の5月28日となった。(青森県 6月6日付)</p> <p><5月31日現在の生育状況></p> <p>・黒石の「つがるロマン」は、草丈が24.7cmで平年より4.1cm長く、株当たり莖数は4.0本で平年並、葉齢は4.6葉で平年より0.4葉多かった。また、「青天の霹靂」は草丈が24.9cmで前年より1.4cm短く、莖数は4.0本で前年並、葉齢は4.6葉で前年より0.1葉多かった。</p> <p>・十和田の「まっくら」は、草丈が30.7cmで平年より5.4cm長く、株当たり莖数は4.0本で平年並、葉齢は4.9葉で平年より0.3葉多かった。(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月1日付)</p>	<p>・6月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオムシははやや少ないと予想される。(青森県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
	(岩手)	<p>・5月19日現在、田植え時期の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。</p> <p>・直播栽培(鉄コーティング種による湛水表面播種栽培)は、播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日付)</p> <p>(田植) ・5月19日現在、県全体の田植え進捗率は62%。直近3年と比べもっとも進みが遅いが、今後は好天が予想され、田植え準備も進んでいることから、適期内(5月15日～25日)に田植え終期を迎えると見込んでいる。地帯別の田植え進捗率は、北北上流は76%であり田植え終期に近づいている。また、東部は52%で田植え盛期を迎え、北上川上流は37%、北部は7%で田植え始期に達していない。(中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月19日付)</p>	<p>・6月の葉いもち、ばか苗の発生量は平年並の予報。イネミズゾウムシ、イネドロオムシの発生量は少の予報。斑点米カメムシ類(アカスジカミカメ)のふ化が早まっており、県中南部では既にふ化盛期を迎えている。(岩手県病害虫防除所 5月31日付)</p>
宮城	(生育)	<p>・6月1日現在の生育は順調であり、平年に比べて2～3日程度進んでいる。草丈は25.5cm(平年比108%)、1㎡当たりの莖数は115本(平年比106%)、葉数は5.6枚(平年差+0.3枚)となっている。【県全体の平均】(宮城県 6月2日付)</p> <p>(大崎) 苗の活着は、好天により良好だった。田植終期は、平年より2日遅くなった。6月1日現在の生育調査はの草丈は、平年並より長い傾向。莖数は、小野田のひとめぼれを除いて平年並より多い傾向。葉数は、4.4～6.0枚(見首のやまのすくは3.8枚)となり、順調に生育が進んでいる。(大崎農業改良普及センター 6月5日付)</p> <p>(美里) 6月1日現在、満谷のひとめぼれ、鹿島台のササニキは、莖数が前年および平年(満谷のひとめぼれは過去2か年平均)を大きく下回っている。移植後の大雨や強風に田植え痛みや、5月20日から22日にかけての高温を受け、養分不足の発生が多かったことなどにより初期生育が抑制されたことが原因と考えられる。(美里農業改良普及センター 6月5日付)</p> <p>(登米) 6月1日現在の生育は5か年平均に比べ、草丈は長く、莖数及び葉数は平年並となっている。早く田植えしたほ場で分けつみられ、順調に生育している。乾田直播は4月中旬から下旬、湛水直播は5月上旬から中旬に播種された。出芽は概ね良好。(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月5日付)</p> <p>(仙南) 6月1日現在の生育は、葉数の増え方を見ると平年よりやや早いペースで進んでいる。「ひとめぼれ」と「まなむすめ」で莖数の平年比が小さく見えるが、1株当たりの分けつけ本数が平年より少ない影響なので、生育が平年より劣っているわけではない。つや姫については逆に分けつけ本数がやや多くなっている。「だて正夢」の分けつ出現ペースは「ひとめぼれ」の約半分。(大河原農業改良普及センター 6月1日付)</p> <p>(栗原) 6月1日現在、ひとめぼれの生育調査3区塊の平均値は、草丈は26.6cmで平年よりやや長い(平年比107%)。葉数は129.3本/㎡で平年よりやや多い(平年比115%)。葉数は6.1枚で平年よりやや多い(平年差+0.5枚)。生育は、ほ場によって差があるが、概ね平年よりやや進んでおり、草丈、葉数、葉数ともに平年を上回った。(栗原農業改良普及センター 6月5日付)</p>	<p>・イネミズゾウムシの発生時期はやや早く、発生量は平年並と予報。イネドロオムシの発生時期はやや早く、発生量はやや少の予報。(宮城県病害虫防除所 5月23日公表)</p>
	(秋田)	<p>(由利) 5月30日現在、田植え作業の進捗率は96.4%で、終期は平年並の5月30日となった。(6月2日付)</p> <p>(平鹿) 移植作業の終期は平年より1日早い5月30日となり、5月30日現在の移植作業の進捗率は98.7%となっている。(6月2日付)</p> <p>(雄勝) 田植作業は終期となった。(6月2日付)</p> <p>(北秋田) 5月30日現在の田植作業は、98%の進捗となっており、終期は、平年並の5月28日となった。生育は概ね順調。(6月2日付)</p> <p>(田植・生育)</p> <p>(秋田) 管内の田植え作業は、平年より2日遅い5月29日に終期を迎え、作業は最終盤に入っている。(6月2日付)</p> <p>(仙北) 5月30日現在の田植え作業の進捗状況は96.2%(平年94.1%)で終期を迎えた。田植え後の生育は概ね順調。(6月2日付)</p> <p>(鹿角) 暮起の5月10日現在の進捗状況は89.5%で5月4日(平年5月7日)に盛期を迎えた。(5月12日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>・6月の病害虫発生量予報</p> <p>葉いもちは平年並、ばか苗ははやや少ない、イネミズゾウムシは平年並、イネクビソノハシは少ない、イネキマキバエはやや少ない、ニカメイガは少ない、アカスジカミカメは多い(前年並)、アカヒゲホソドリカミカメは平年並、フタオビコヤガは少ない(秋田県病害虫防除所 5月26日公表)</p>
山形	(生育)	<p>・移植盛期は5月18日と平年より1日早くなった。(庄内地域：5/13(-)、内陸地域5/21(-))。各地域とも移植後は好天に恵まれ、活着は概ね良好。5月31日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈は長く、莖数、葉数は平年並となっている。</p> <p>・直播栽培は、播種後の好天により、全般的に苗立ちが良好となっている。</p> <p>・「つや姫」は、順調に田植え作業が行われ、良好なスタートを切った。現在の生育は、草丈が平年より長く、莖数、葉数は平年並となっている。</p> <p>(オールやまがた米づくり日本一運動本部 5月31日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報(山形県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
	(酒田)	<p>5月31日現在、つや姫の生育はおおむね平年並。連休前半に植えた苗は、低温と強風の影響で植え傷みによる生育遅延が見られる。草丈：「平年並～長い」、莖数：「少ない～平年並」、葉数・葉数の展開は「1～2日早い」。(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 6月2日付)</p> <p>(鶴岡田川) 生育診断用の5月31日の生育では、草丈は平年並～長く、莖数は平年並～やや多く、葉数は平年並～1程度進んでいる。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月2日付)</p> <p>(東南村山) つや姫は、育苗期間が高温で経過したため、苗質・充実度は平年よりやや劣っている。穂数を確保するために、種々な深水を湛えて生育量を確保するよう指導。(山形つや姫ブランド化戦略推進本部村山地域本部村山農業技術普及課 6月2日付)</p> <p>(最上) 管内の移植作業は、始期が5月16日、盛期が20日、終期が28日(見込み)と、平年よりやや早い進捗となっている。好天が続き、活着は良好と考えられる。(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日付)</p>	
福島	(育苗・田植)	<p>・移植栽培の播種作業は、盛期が4月17日(平年差+1日)、終期が4月24日(平年差±0)で、平年並に進んだ。湛水直播栽培の播種作業や移植栽培の田植えは、4月下旬から始まっている。(福島県農水産部 5月12日付)</p>	<p>・葉いもちの発生量は平年並、イネドロオムシの発生時期は早く発生量はやや少、イネヒメハモグリバエの発生量はやや少、イネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量はやや少と予報(福島県病害虫防除所 5月26日公表)</p>

注：この資料は、地方自治体及び出先機関等が各々のホームページで公表している資料について、一般及び関係者に周知することを目的として、米穀機構情報部が各公表資料の一部を抜粋し取り纏めたものです。各情報の詳細につきましては、末尾に明示している原資料を参照してください。

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等(抜粋)
茨城	<p>(水戸市) 5月31日現在、5月1日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育はともに平年並、草丈は商品種ともに平年並、莖数は商品種ともに平年より少なく、葉色は商品種ともに平年並。</p> <p>5月10日に移植した「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は平年より3日程度早い。草丈は平年並、莖数は平年より多く、葉色は平年並。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日付)</p> <p>(龍ヶ崎市) 5月29日現在、4月27日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は平年より1日程度早い。商品種の草丈は平年よりやや長く、葉色は平年並。</p> <p>5月8日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の主穂葉数の展開からみた生育は平年より3~4日早い。草丈は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」でやや長い。葉色は平年並~やや濃い。(茨城県農業総合センター農業研究所 6月2日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生量は県西地域、県南の一部地域で多く、ニカメイガの発生量は県下全域でやや多いと予報(茨城県病害虫防除所 5月31日公表) 関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想(農林水産省 5月17日付)
栃木	<p><早稲栽培コシヒカリの5月25日調査結果(16カ所平均)></p> <p>苗草丈は平年比97%とやや低いもの、乾物重はやや重く(平年比104%)、葉齢は平年並で、充実した音となった。</p> <p>本田における生育調査では、草丈は高く(平年比108%)、莖数は多い(121%)、葉齢はやや多く(+0.4葉)、葉色は平年よりやや淡い(-0.2)。生育診断値(葉色×莖数)は平年より大きい(116%)。(栃木県農政部 5月29日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5月中旬~下旬に調査した結果、イネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の県中南部地域での発生量は多いと予報(栃木県農業環境指導センター 5月31日) 5月下旬~6月下旬の綿葉枯病の発生量はやや多いと予報(栃木県農業環境指導センター 5月19日公表) 関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想(農林水産省 5月17日付)
埼玉		<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いもちの発生量はやや多、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシとヒメトビウカの発生量はやや少、綿葉枯病の発生量はやや多の予報(埼玉県病害虫防除所 5月29日公表) 関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想(農林水産省 5月17日付)
千葉	<p>6月1日現在の生育状況は、5月下旬の気温が平年と比較して高い傾向が続き、生育の回復が進んだ。特に、コシヒカリではやや莖数が多く、中干しの過期を過ぎているものがあり注意が必要。</p> <p>4月20日補え「ふさおとめ1」は、平年と比較して3日程度早い6月14日頃から幼穂形成期となる見込み。(千葉県農林水産部 6月5日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 向こう1か月の病害虫の発生量は、いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシは平年並、ジャンボタニシは多、ヒメトビウカはやや多、イネクロカメシはやや少の予報(千葉県農林総合研究センター 5月17日公表) 関東のイネ綿葉枯病(ヒメトビウカ)の発生は「多い」と予想(農林水産省 5月17日付)
新潟	<p>5月30日現在、田植え後の気温が平年より高く推移しており、生育は良好。</p> <p>コシヒカリは、県平均で指標値に比べ草丈は「やや長い」、莖数は「多い」、葉数の進みは「やや早い」状況。</p> <p>こしいぶきは、県平均で指標値に比べ、草丈は「並」、莖数は「多い」、葉数の進みは「早い」状況。</p> <p>作物研究センター調査地の新之助の生育は、草丈は前年より短く、莖数は前年より少なく、葉数の進みは前年並。(新潟県農林水産部 5月31日付)</p> <p>(長岡) 5月30日調査のコシヒカリ(定点調査ほ7カ所平均)は、5月上旬に植えられた場合は、田植え以降の高温多湿で生育が早まり、分けつが発生が順調で、早めの中干しが必要な状況。5月中旬以降植えのほ場でも、今後、莖数の増加が予想され、遅くとも田植え1か月後には中干しを実施するよう指導。(長岡農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(岩船) 5月30日現在、草丈：並~やや長、莖数：やや少~並、葉数：指標値並、管内の田植え盛期は5月14日で平年に比べ3日遅れ。5月13、14日の強風等により、荒川地域で活着の遅れや補え傷み等が発生。5月後半は高温・多日照で経過しており、5月連休田植えの多くのほ場で分けつの発生が見られ、生育は順調。(村上農業普及指導センター 5月30日現在)</p> <p>(魚沼) 5月30日のコシヒカリ生育調査結果(4地点平均値)は、草丈23cm(指標値比115%)、莖数93本/m²(同比116%)、葉数4.9葉(指標値比+0.5葉)。田植え後、野天で推移したことから、活着・初期生育は良好。田植え盛期は5月18日だったが、5月10日から15日程度の早稲ほ場では、分けつ発生が確認。(魚沼農業普及指導センター 5月30日調査)</p> <p>(十日町) 管内の田植え盛期は5月22日(平年差-1日)で、5月29日現在83%終了した。田植え後の好天により活着は良く、補え傷みは少なく生育は順調。生育が順調で過剰分けつが想定されるため、中干し時期は早まる見込み。(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 5月30日付)</p> <p>(柏崎) 5月30日現在、新之助の生育は順調。調査ほ場では分けつは確認されていない。(柏崎農業普及指導センター 6月1日付)</p> <p>5月30日現在、こしいぶきの生育は概ね順調。苗1本から1~2本程度分けつが出ている。平坦地コシヒカリは指標値と比べて、草丈：やや長い、莖数：やや多い、葉数：やや早い(2日程度早い)、天候に恵まれ順調に生育が進み、5月15日前に田植えしたほ場は分けつの発生も見られる。(柏崎農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(巻) 5月30日調査の結果、草丈：「やや長い」、莖数：「やや多」、葉数：「やや早い」。生育が早く、順調のため田植え1か月後をめやすに中干しを実施するよう指導。(巻農業普及指導センター 5月30日)</p> <p>(新発田) コシヒカリ(5月30日調査)の田植え後の活着は平年並。田植え以降、高温で推移したことから、生育が進んでいる。生育は平年に比べ4日程度早まっている。草丈は26cmで指標比119%、(長い)、莖数は103本/m²で指標比121%、(多い)、葉数は5.6葉で指標比+0.9葉(多い)。(新発田農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(新潟) 5月30日現在、コシヒカリの生育状況は目標に比べて、草丈は「やや短い」(94%)、莖数は「多い」(121%)、葉数は「並」(+0.2葉)。田植え後は気温が高く、日照も多く推移し、生育は概ね順調だが、ワキやアオミドロ、表面剥離が発生しているほ場が見られる。(新潟農業普及指導センター 5月31日付)</p> <p>(三条) 5月30日現在、田植え後の好天で、コシヒカリの生育は指標値より3~4日程度早く、前年同様(前年比97%)に莖数も多い。全般に初期生育が良好で分けつの発生が順調に進んでいる。草丈は26cmで指標比110%、莖数は128本/m²で指標比116%、葉数は5.7葉で指標比+0.7葉。(三条農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(上越) 5月30日現在、コシヒカリの生育は、5月中旬以降、高温で経過したことから、例年になく早く進んでいる。指標値に比べ、草丈は長い(128%)、莖数は多い(139%)、葉数は多い(+0.9葉)。「こしいぶき」の生育も、順調に進んでいる。(上越農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(佐渡) 5月中旬以降気温が高めに推移し、稲の生育は進んでいる。田植え日によって風の影響が少なかったほ場は生育がかなり進んでいる。5月30日現在のコシヒカリは、莖数はやや多、活着の良いほ場では莖数は多、草丈・葉数は、ほぼ指標並。(佐渡農業普及指導センター 5月30日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は多い、アカヒゲホソリカスミカメはやや多い、アサジガスミカ、トゲシラホソリカスミカは平年並、ニカメイガは発生時期が早く発生量は平年並(局部多い)、イネミズゾウムシは平年並、イネドロオイムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報(新潟県病害虫防除所 5月31日公表)
富山	<p>生育観測ほデータ(5月31日現在)</p> <p>(てんたかく) 平年に比べ、草丈はやや長く、莖数は多く、葉齢はやや進んでいる。(コシヒカリ) 平年に比べ、草丈はやや長く、莖数、葉齢は並みとなっている。(てんこもり) 平年に比べ、草丈は長く、莖数は多く、葉齢はやや進んでいる。(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(生育) 直播栽培の生育状況(5月29日現在)</p> <p>湛水土中直播栽培(カルバー)は、平年に比べ、草丈は20.6cmとかなり長く、莖数は142本/m²(苗立本数比194%)とかなり多く、葉齢展開は4.1葉と進んでいる。</p> <p>湛水表面直播栽培(鉄)は、草丈は14.7cm、莖数は104本/m²、葉齢は3.7葉となっている。</p> <p>乾田V溝直播栽培は、草丈は12.6cm、莖数は195本/m²、葉齢は3.1葉となっている。(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月29日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、紋枯病は多い、アカヒゲホソリカスミカメはやや多い、アサジガスミカ、トゲシラホソリカスミカは平年並、ニカメイガは発生時期が早く発生量は平年並(局部多い)、イネミズゾウムシは平年並、イネドロオイムシは少ない、ツマグロヨコバイはやや多いと予報(富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表)
石川	<p>草丈は、コシヒカリは平年比97~114% (県平均:105%、加賀:105%、能登:105%)、と概ね平年、前年に比べやや長い。ゆめみづほは、近年比94~115% (県平均:104%、加賀:102%、能登:112%)と加賀地域は近年並で前年よりやや長く、能登地域は近年及び前年に比べ長い。</p> <p>莖数は、コシヒカリは平年比107~162% (県平均:129%、加賀:127%、能登:134%)と平年に比べて多く、前年よりやや多い。ゆめみづほは、近年比90~170% (県平均:139%、加賀:134%、能登:168%)と近年及び前年に比べて多い。</p> <p>ひやくまん穀は、調査田の移植日がコシヒカリに比べ加賀地域で4日、能登地域で12日程度遅いため、加賀地域で分けつの発生が見られるもの、能登地域では分けつの発生は見られていない。</p> <p>葉齢は、コシヒカリは平年比95~133% (県平均:106%、加賀:+0.3葉、能登:+0.3葉)、ゆめみづほは近年比100~111% (県平均:106%、加賀:+0.2葉、能登:+0.6葉)、ひやくまん穀は、県平均4.7葉(2.4~6.1葉)となっている。</p> <p>葉齢展開は、コシヒカリは平年に比べ2~3日程度早く、前年並。ゆめみづほは近年に比べ2日程度早く、前年並。(石川県農林水産部農林総合研究センター 5月29日調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5月下旬~6月中旬の葉いもちの発生量はやや多、イネドロオイムシの発生量はやや少、斑点米カメシ類の雑草地における発生はやや多と予想(石川県農林総合技術センター 5月25日公表)
福井	<p>6月1日調査の結果、連休に移植または播種した直播圃場では生育がやや早く、分けつ確保も良好。移植コシヒカリの草丈は長く、やや分けつが少ない。ハナエチゼンは生育が3日程度早く、草丈が長く、分けつ数は平年より多い。(水田農業レベラアップ委員会技術普及部会 6月2日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年より多い、紋枯病は平年並、ニカメイガは平年よりやや多い、イネミズゾウムシは平年より少ない、イネゾウムシは平年並、イネクビソウムシは平年より少ない、イネヒメハモグリバエは平年並の予報(福井県農業試験場病害虫防除室 6月1日公表)

	平年に対する遅速等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
長野	(生育) ・田植え後、高温傾向で推移している。活着は順調。（松本農業改良普及センター）	<ul style="list-style-type: none"> ・5月29日推定では、イネミズゾウムシの発生時期（越冬後成虫の半数出現推定時期）は、平年値のある長野、松本、諏訪、飯田の4観測地点では平年並の予測。上田では平年よりやや早い、木曾福島ではやや遅いと予測。その他の地点は、平成27年に比べて3～12日程度遅いと予測。（長野県病害虫防除所 5月31日公表） ・向こう1ヶ月間のニカメイチュウの発生量は平年並～やや少く、ツマグロヨコバイ、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少いと予測（長野県病害虫防除所 5月16日公表）
滋賀	(生育) <ul style="list-style-type: none"> ・5月31日現在の「コシヒカリ」、「秋の詩」の生育は状況は、移植後は気温が高く経過したことから、活着は良好であった。草丈は、商品種ともに平年並。葉数は、商品種ともに平年よりかなり多かった（平年の約1.3倍）。葉数は、「コシヒカリ」が0.5枚、「秋の詩」が平年より0.7枚多かった。 ・県内の状況は、移植の早い立場では生育はやや旺盛となっているものの、全般には平年並となっている。 ・5月上旬移植の「みずかかみ」は中干し開始時期を迎えている。（滋賀県農業技術振興センター 6月6日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉いもち、ニカメイガ(I)、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシの発生量は平年並の予測（滋賀県病害虫防除所 5月23日公表）
兵庫	(育苗・田植) ・6月1日現在、県北は本田での生育はほぼ順調である。県南は苗の生育は順調である。（兵庫県農政環境部 6月1日付）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもち、ばか苗病の発生量は平年並、ヒメトビウンカ（緑葉枯病）の発生量はやや多、セジロウンカ、トビイロウンカの発生量は平年並の予測（兵庫県病害虫防除所 5月30日公表）
岡山		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもちの発生量は平年並、ヒメトビウンカの発生量は少、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予測（岡山県病害虫防除所 6月1日公表）
広島		
山口		<ul style="list-style-type: none"> ・6月のイネ緑葉枯病（ヒメトビウンカ媒介）の発生量は平年並の予測（山口県病害虫防除所 6月1日公表）
愛媛	(育苗) ・5月は普通期水稻の育苗が始まる。（愛媛県農林水産研究所 5月10日付）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の葉いもち、ウンカ・ヨコバイ類の発生量は平年並の予測（愛媛県 5月31日公表）
高知	(生育) <ul style="list-style-type: none"> ＜早期水稻の生育状況（5月24日時点）＞ 全体的に葉数が多く、赤枯れ症状が一部確認され、生育進度は5月17日時点と同様にやや遅れ気味となっているが、問題なく生育している。 ・4月5日植えの南園ぞだちは、草丈は平年よりやや高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進度は平年よりもやや遅くなっている。 ・4月5日植えのコシヒカリは、草丈は平年よりやや高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進度は平年よりも遅くなっている。 ・4月14日植えのコシヒカリは、草丈は平年よりやや高く、葉数は平年より多く、葉齢でみた生育進度は平年並となっている。（高知県農業技術センター 5月26日付） 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは平年並、ツマグロヨコバイは県中央部と県西部で多く、県東部と県中西部ではやや少ない、セジロウンカは平年並、ヒメトビウンカはやや少の予測（高知県病害虫防除所 6月6日公表）
福岡	(育苗・田植) <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稻の田植えは平年並で、5月15日までに終了。苗の活着や初期生育は良好。 ・普通期水稻は、5月15日現在、6月上中旬植えの育苗作業が行われ、生育は順調。出穂移行の高温を想定し、「夢つくし」の田植えは6月上中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。（福岡県農林業総合試験場 平成29年5月15日現在（専技情報より抜粋）） 	
熊本		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期・早植水稻の葉いもちの発生量は平年並の予測（熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮崎		<ul style="list-style-type: none"> ・向こう1か月間の早期水稻の葉いもちの発生量は平年並の予測（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月19日公表）
鹿児島		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の早期水稻のいもち病の発生量はやや少、紋枯病の発生量は平年並の予測（鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表）

注1：地方自治体及び出先機関等がホームページで公表している資料を策源機関情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標				収穫量（主食用） 28年度	作況指数 28年度
		平成29年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）		
		t	t	%	t		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 6月3日～7月2日の1か月間の気温は、北・東日本ではほぼ平年並、西日本では平年並か高い見込み。北日本太平洋側、東日本日本海側及び西日本太平洋側では向こう1か月の降水量は平年並か多い見込み。北日本日本海側、東日本日本海側及び西日本太平洋側では、日照時間は平年並か少ない見込み。沖縄・奄美では、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は、かなり高くなる所がある見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。（気象庁 6月1日発表） （6～8月の3か月間の見通し） 6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。 7月は、北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側と西日本では、期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 8月は、北日本では、天気は数日の周期で変わり、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 5月24日発表） 	7,350,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,330,000	7,496,000	103
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の6月3日～7月2日の1か月間は、1週目の気温は日本海側とオホーツク海側で平年より低く、太平洋側では平年並か低い見込み。向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は、太平洋側は平年並が多く、日本海側とオホーツク海側はほぼ平年並の見込み。日照時間は、平年並か少ない見込み。（札幌管区気象台 6月1日発表） 	535,669	▲ 5,831	▲ 1.1	534,212	545,500	102
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（仙台管区気象台 6月1日発表） 	237,294	▲ 2,583	▲ 1.1	236,649	222,300	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	265,432	▲ 2,889	▲ 1.1	264,710	254,300	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	341,193	▲ 3,713	▲ 1.1	340,264	352,300	105
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	408,644	▲ 4,448	▲ 1.1	407,532	409,600	104
山 形	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	337,160	▲ 3,670	▲ 1.1	336,243	345,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月1日発表）	332,316	▲ 3,617	▲ 1.1	331,412	333,600	102
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表） 関東甲信地方の6月3日～7月2日の1か月間の気温は、期間のはじめは平年並か低くなるが、その後は平年並か高くなり、向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。向こう1か月の降水量および日照時間はほぼ平年並となる見込み。（気象庁 6月1日発表） 	330,182	▲ 3,594	▲ 1.1	329,284	350,100	99
栃 木	同上（気象庁 6月7日発表、6月1日発表）	292,326	▲ 3,182	▲ 1.1	291,531	295,300	102
埼 玉	同上（気象庁 6月7日発表、6月1日発表）	148,047	▲ 1,612	▲ 1.1	147,644	154,100	101
千 葉	同上（気象庁 6月7日発表、6月1日発表）	241,239	▲ 2,625	▲ 1.1	240,582	295,900	102
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の6月3日～7月2日の1か月間は、気温はほぼ平年並、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。2週目は、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。（新潟地方気象台 6月1日発表） 	510,184	▲ 5,553	▲ 1.1	508,796	589,700	108
富 山	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	181,695	▲ 1,977	▲ 1.1	181,200	191,300	106
石 川	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	120,996	▲ 1,317	▲ 1.1	120,667	123,900	104
福 井	同上（新潟地方気象台 6月1日発表）	122,787	▲ 1,337	▲ 1.1	122,453	126,300	104
長 野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたと見られる。（気象庁 6月7日発表） 関東甲信地方の6月3日～7月2日の1か月間の気温は、期間のはじめは平年並か低くなるが、その後は平年並か高くなり、向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。向こう1か月の降水量および日照時間はほぼ平年並となる見込み。（気象庁 6月1日発表） 	189,867	▲ 2,066	▲ 1.1	189,350	197,800	101

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方は、6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（大阪管区気象台 6月7日発表） 近畿地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温はほぼ平年並の見込み。太平洋側では、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。日本海側では、降水量はほぼ平年並、日照時間もほぼ平年並の見込み。（大阪管区気象台 6月1日発表） 	157,032	▲ 1,709	▲ 1.1	156,604	161,300	104
兵 庫	同上（大阪管区気象台 6月7日発表、6月1日発表）	176,596	▲ 1,922	▲ 1.1	176,115	177,400	100
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（広島地方気象台 6月7日発表） 中国地方の6月3日～7月2日の1か月間は、1週目の気温は平年並か低く、2週目と3～4週目は平年並か高く、平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。（広島地方気象台 6月1日発表） 	155,172	▲ 1,689	▲ 1.1	154,750	155,600	101
広 島	同上（広島地方気象台 6月7日発表、6月1日発表）	127,201	▲ 1,384	▲ 1.1	126,855	124,300	102
山 口	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表） 九州北部地方（山口県を含む）の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。（福岡管区気象台 6月1日発表） 	106,443	▲ 1,158	▲ 1.1	106,153	101,400	102
愛 媛	<ul style="list-style-type: none"> 四国地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる。（高松地方気象台 6月7日発表） 四国地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（高松地方気象台 6月1日発表） 	72,345	▲ 788	▲ 1.1	72,148	72,100	102
高 知	同上（高松地方気象台 6月7日発表、6月1日発表）	49,003	▲ 534	▲ 1.1	48,870	53,100	100
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部地方（山口県を含む）は、6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（福岡管区気象台 6月6日発表） 九州北部地方（山口県を含む）の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（福岡管区気象台 6月1日発表） 	178,582	▲ 1,944	▲ 1.1	178,097	177,400	100
熊 本	同上（福岡管区気象台 6月6日発表、6月1日発表）	185,277	▲ 2,016	▲ 1.1	184,773	171,300	102
宮 崎	<ul style="list-style-type: none"> 九州南部は6月6日ごろに梅雨入りしたと見られる。（鹿児島地方気象台 6月6日発表） 九州南部地方の6月3日～7月2日の1か月間は、平均気温は高く、降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。（鹿児島地方気象台 6月1日発表） 	91,606	▲ 997	▲ 1.1	91,357	77,200	100
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 6月6日発表、6月1日発表）	108,704	▲ 1,183	▲ 1.1	108,408	97,600	100

出所(原資料):

平成29年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成28年度産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成29年度病害虫発生予報第2号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月6日)、農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月6日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月6日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月6日)、農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月6日)、
平成29年度病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月31日)、
H29水稲作況(5月31日現在)作況調査報告(青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月1日)、
6月5日現在田植進捗状況(青森県 6月6日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報第3号(6月予報)(岩手県病害虫防除所 5月31日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部 5月25日)、
田植への進捗状況(5月19日現在概況速報)について(岩手県中央農業改良普及センター-県域普及グループ 5月19日)、
平成29年度産水稲の生育状況について(6月1日現在)(宮城県農林水産部 6月2日)、平成28年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月23日)、
平成29年度産大崎稲作情報第2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月5日)、平成29年度産美里地区の稲作情報第1号(宮城県美里農業改良普及センター 6月5日)、
登米地域の稲作通信第2号(宮城県米づくり推進登米地方本部登米農業改良普及センター 6月5日)、
仙南稲作情報2017vol.1(6月1日号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月1日)、栗原の稲作通信平成29年第1号(栗原農業改良普及センター 6月5日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ)こまちなチャンネル<http://www.e-komachi.jp/> 6月2日)、
平成29年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月26日)、
米づくり技術情報NO.2(オールやまがた米づくり日本一運動本部 5月31日)、
おいしい米づくり情報第5号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月2日)、
つや姫通信第1号本田初期編(村山総合支庁農業技術普及課 6月2日)、おいしい米づくり情報第5号(村山総合支庁農業技術普及課 5月30日)、
おいしい米づくり情報号外高温対策編(村山総合支庁農業技術普及課 5月17日)、
稲作だより第5号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月23日)、
平成29年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 5月31日)、
主要な農作物の生育情報平成29年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成29年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月26日)、
農研速報 水稲の生育状況(5月31日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月2日)、
農研速報 水稲の生育状況(5月29日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月2日)、病害虫発生予報6月号(茨城県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 6月5日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月19日)、
平成29年度病害虫発生予察注意報第1号(栃木県農業環境指導センター 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月29日)、平成29年度病害虫発生予報第2号(千葉県農林総合研究センター 5月17日)、
水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月5日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、新発田地域水稲生育速報No.1(新発田農業普及指導センター 5月30日)、
稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月31日)、FAX稲作情報No.4(三条農業普及指導センター 5月30日)、
稲作情報No.3(長岡農業普及指導センター 5月31日)、H29岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター 5月30日)、
5月30日コシヒカリ生育調査結果(魚沼農業普及指導センター 5月31日)、5月30日稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター 5月30日)、
柏崎地域新之助栽培情報(柏崎農業普及指導センター 6月1日)、稲作管理情報No.1(柏崎農業普及指導センター 5月31日)、
水稲生育速報(奈農業普及指導センター 5月30日)、
平成29年度上越地域米 コシヒカリ・こいぶき 生育速報(5月30日)(上越農業普及指導センター 5月30日)、
平成29年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、
平成29年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第1号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月30日)、 直播情報(第1号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月29日)、
病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 5月31日)、
平成29年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月31日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月25日)、平成29年度農作物病害虫発生予報第4号(福井県農業試験場 6月1日)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月2日)、
平成29年度稲作技術普及情報第7号(松本農業改良普及センター)、
イネミズゾウムシ越冬後成虫の発生時期の予測(平成29年)(長野県病害虫防除所 5月31日)、病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、
平成29年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月6日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月23日)、
平成29年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 6月1日)、平成29年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 5月30日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月10日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県 5月31日)、
平成29年度における早期水稲の生育状況(5月24日時点)(高知県農業技術センター 5月26日)、
平成29年度病害虫発生予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月6日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、平成29年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月31日)、
平成29年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月19日)、平成29年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月29日)、

北海道方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)
全国向こう3か月の天候の見通し・全国向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
梅雨の時期に関する関東甲信地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する近畿地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する中国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する四国地方気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州北部(山口県含む)気象情報1号(気象庁)
梅雨の時期に関する九州南部・奄美地方気象情報2号(気象庁)